

金津中学校

令和6年度

全国学力・学習状況調査結果

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が全国の児童生徒（小学6年生、中学3年生）を対象として行う調査です。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、平成19年度より実施されています。学力を問う出題だけでなく、児童生徒の学習環境や生活環境の質問紙調査も行われています。

この度、令和6年4月に実施された調査について、本校の結果を公表します。この結果については、調査日時点でのものであること、成長過程の子どもたちの限られた教科の結果であること、また、学習状況の部分的な調査であることをご承知おきください。

本校としましては、教育活動を評価するための一つの資料として有効に活用してまいります。また、児童生徒の学力の向上には、学校と家庭、地域の連携が不可欠です。今回の公表結果を通して、三者の連携体制をより一層強く築くための一助にしたいと考えております。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■調査対象

小学校6年の児童及び中学校3年の生徒

■調査事項

- 1 教科に関する調査
 - ・国語 ・数学
- 2 教科に関する調査の内容
 - ・知識と活用を一体的に問う問題形式で出題
- 3 質問紙調査
 - ・生活習慣や学習環境に関する質問

■教科に関する本校の調査結果から

【全国・県平均正答率との比較(Pはポイント)】

3P以上高い→◎ 0～3P高い→○ 0～3P低い→▽ 3P以上低い→▼

中3	国との比較	県との比較
国語	○	○
数学	◎	○

【教科別の成果と課題】

<国語>

「良好」な内容

- 文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
- 自分の考えをまとめることができる。
- 相手に自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
- 目的に応じて必要な情報を集めたり、資料を用いたりすることができる。

「課題」となる内容

- 情報を整理したり、情報と情報との関係について理解したりすること。
- 文章と資料を結びつける等の情報処理を行うこと。
- 短歌の表現技法について理解している。

<数学>

「良好」な内容

- 簡単な場合について、確率を求めることができる。
- 与えられたデータから最頻値を求めることができる。
- 2つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができる。
- グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる。

「課題」となる内容

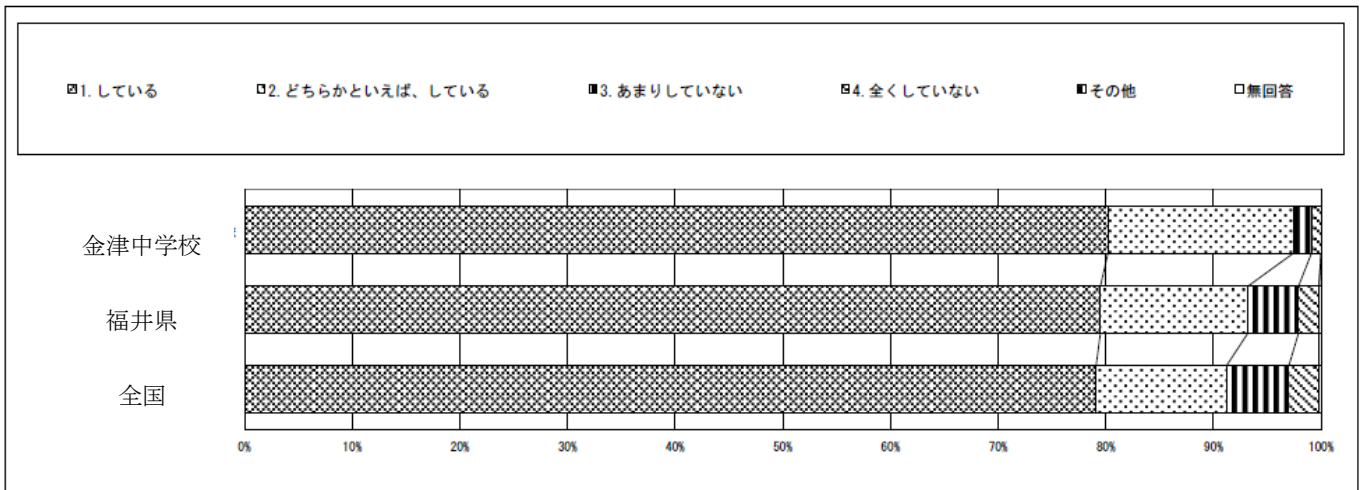
- 等式を目的に応じて変形すること。
- 筋道を立てて考え、証明すること。
- 一次関数について、式とグラフの特徴を関連づけて理解すること。

■児童生徒質問紙調査の結果から

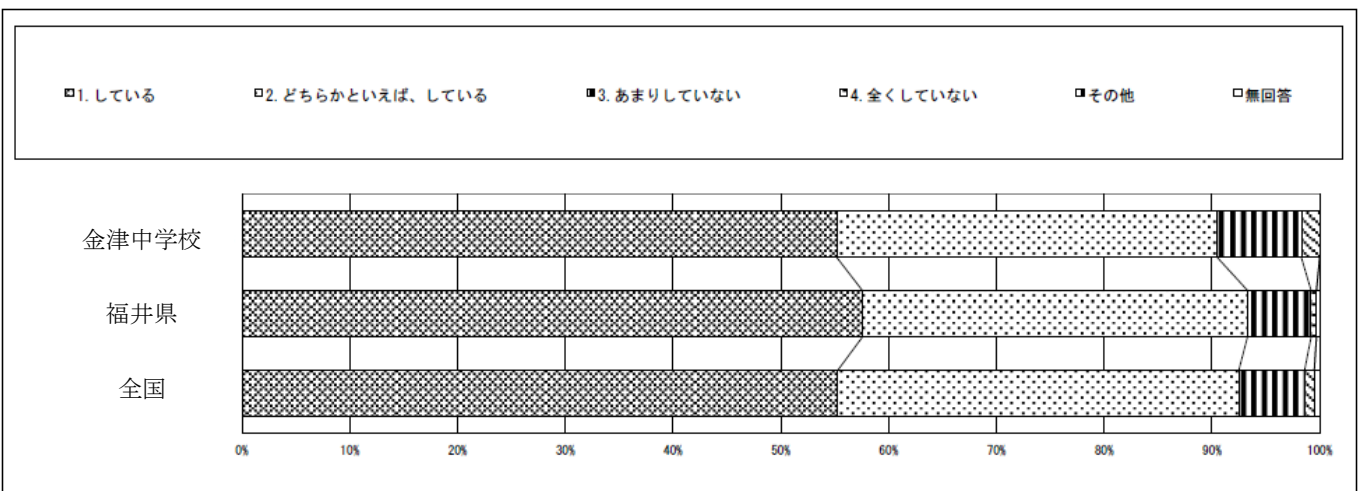
生活習慣

「朝食を毎日食べる」「毎日、同じ時刻に寝起きしている」など規則正しい生活を送っている生徒が多いようです。

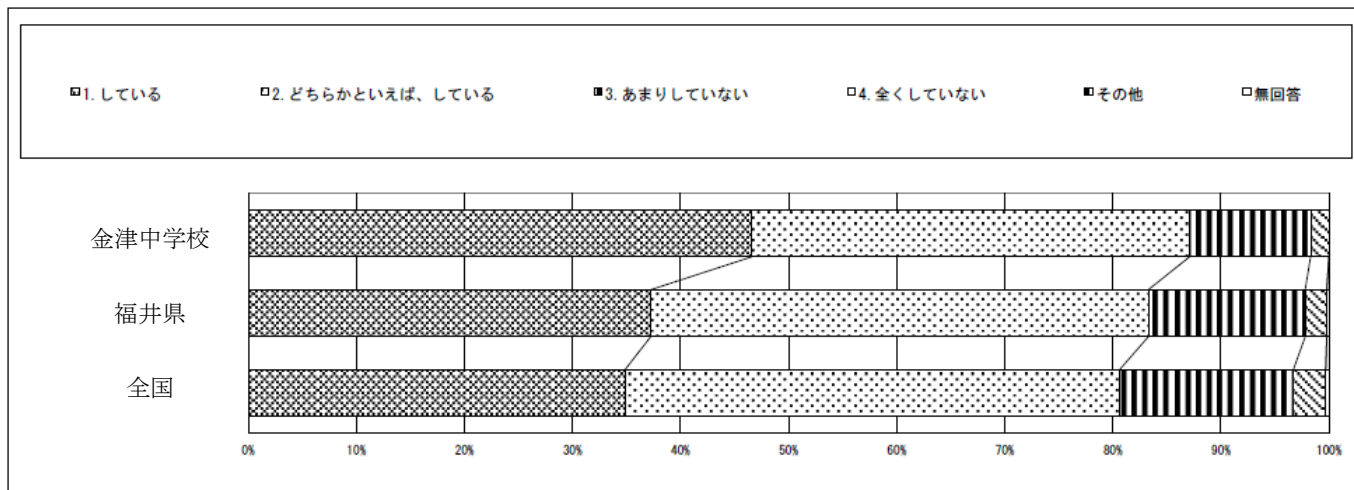
○朝食を毎日食べていますか。



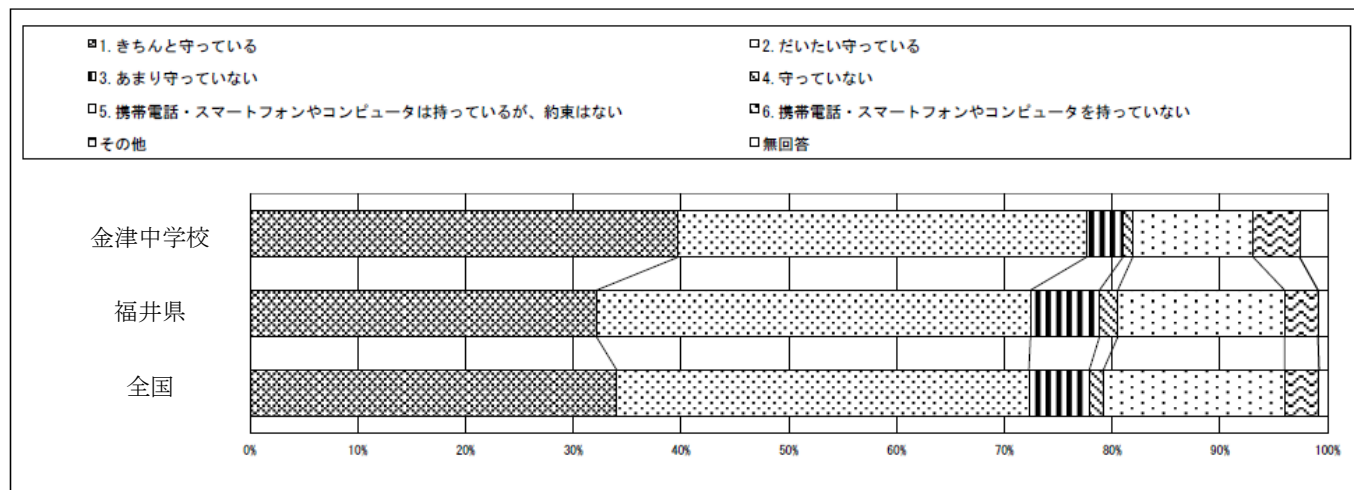
○毎日、同じくらいの時間に起きていますか。



○携帯電話・スマートフォンやコンピュータのつかいかたについて、家の人と約束したことを守っていますか。



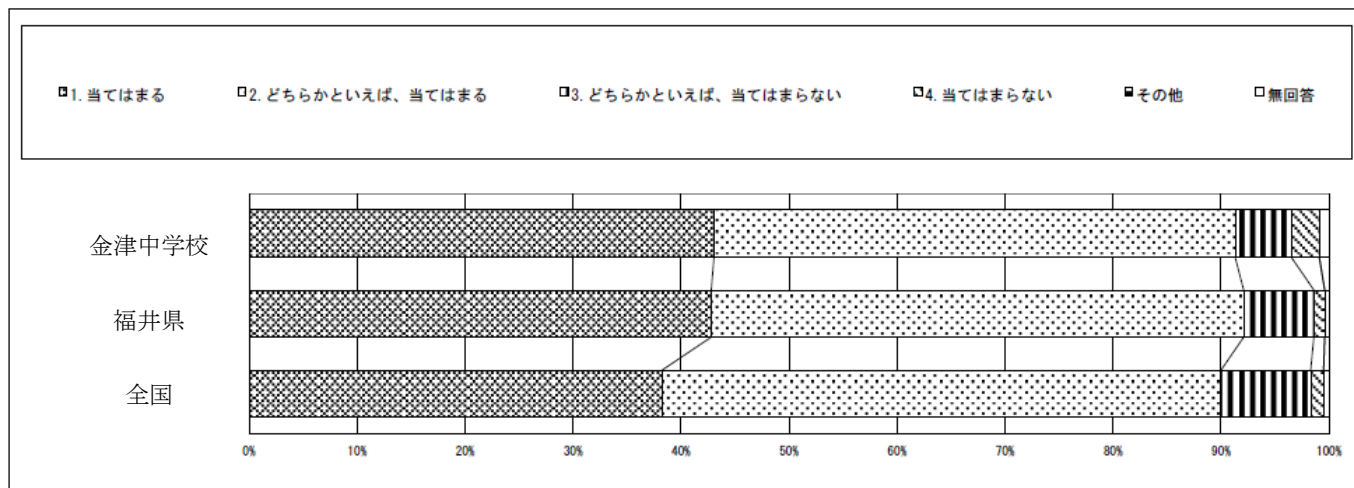
○毎日、同じ時刻に寝ていますか。



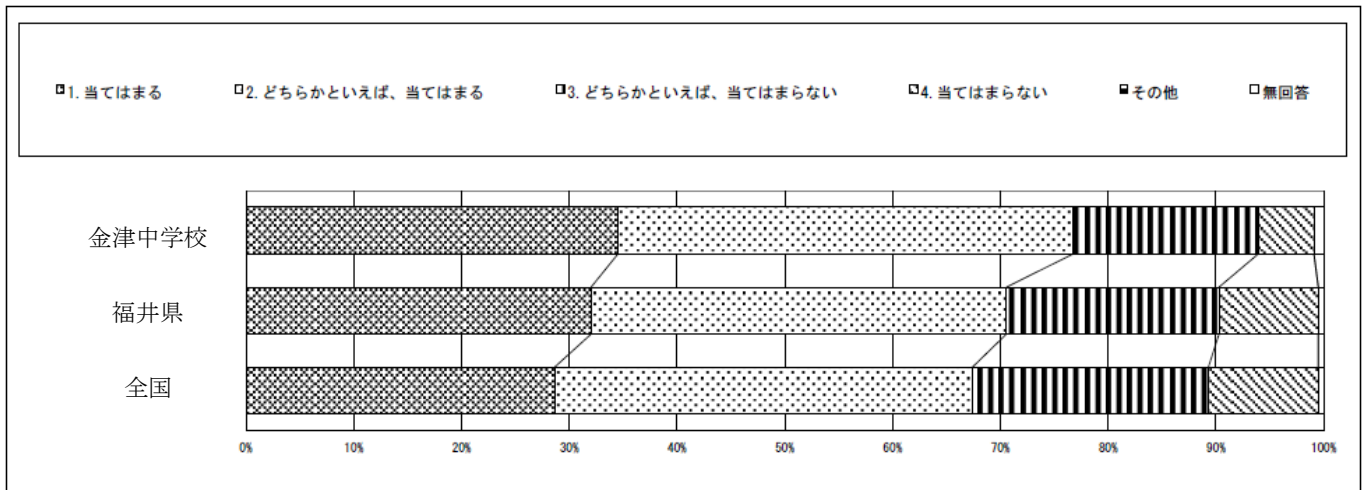
いじめ

いじめはどんなことがあってもいけないことです。このことについては、引き続き真剣に考えていかなければなりません。また、困っている人に対して、見て見ぬふりをしない、困ったらひとりで悩まず大人に相談できる雰囲気大切です。

○人が困っているときは、すすんで助けていますか。



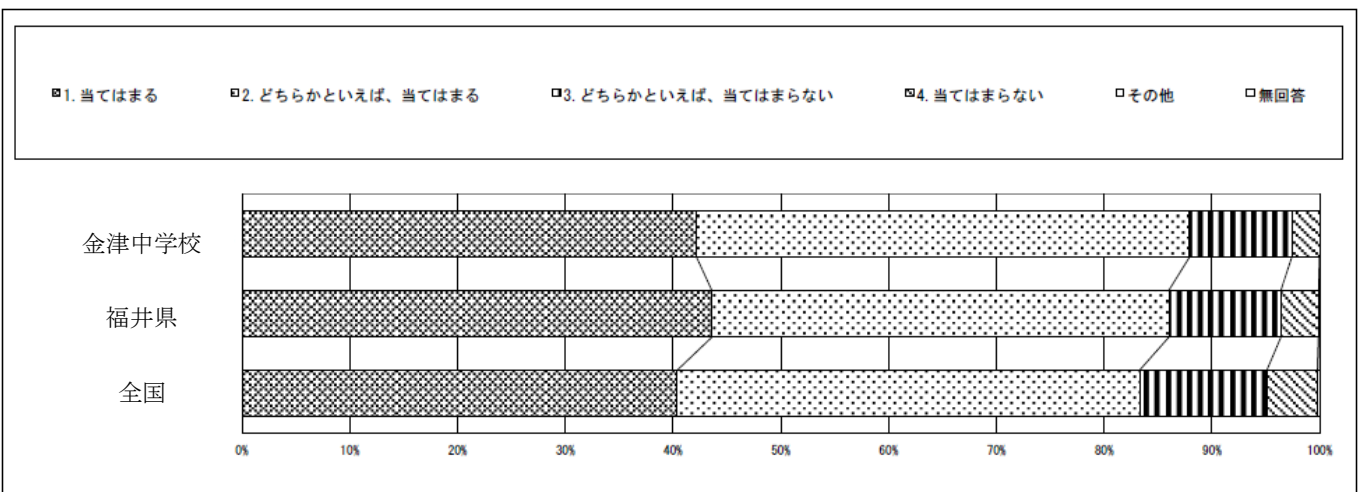
○困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



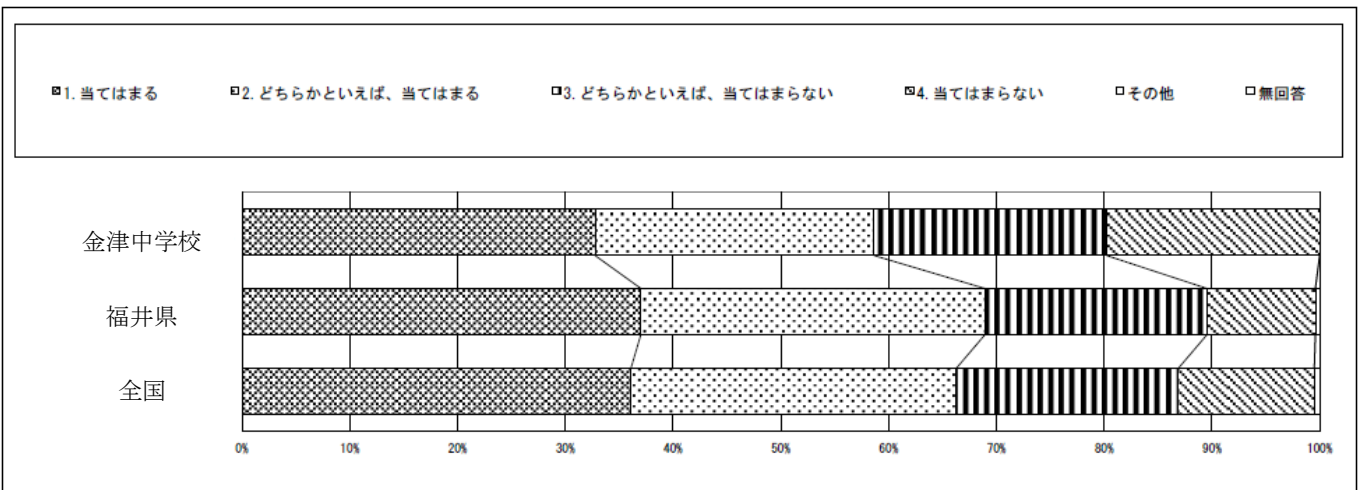
自尊感情等

「自分に良い所がある」、「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒の割合が県平均よりも低いです。「夢や目標」を人には言えなくてもしっかりと自分でもっていることが大切です。

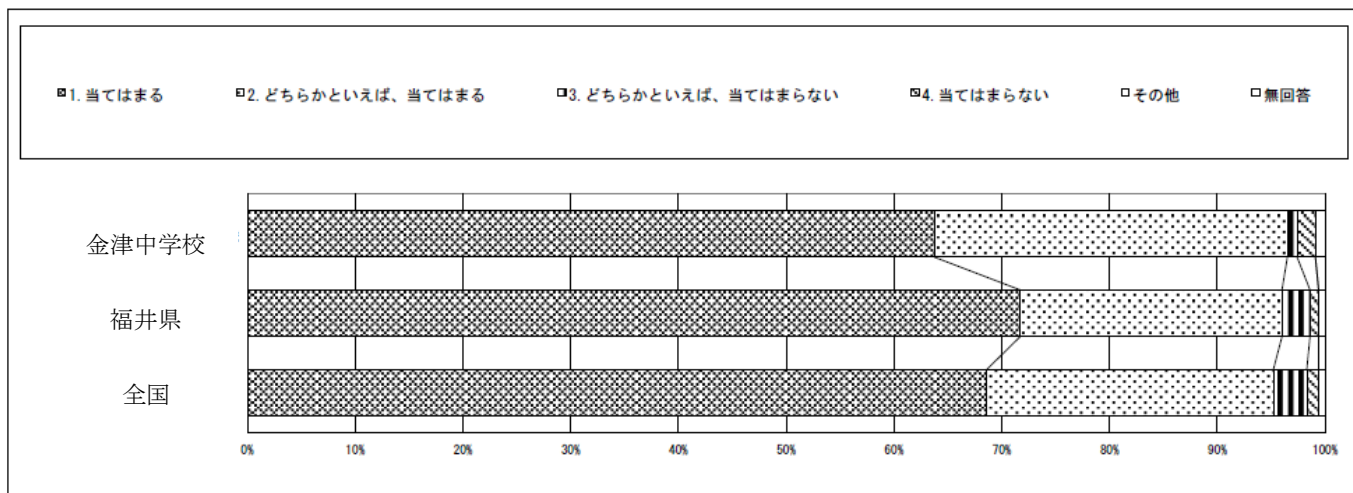
○自分には、よいところがあると思いますか。



○将来の夢や目標を持っていますか。



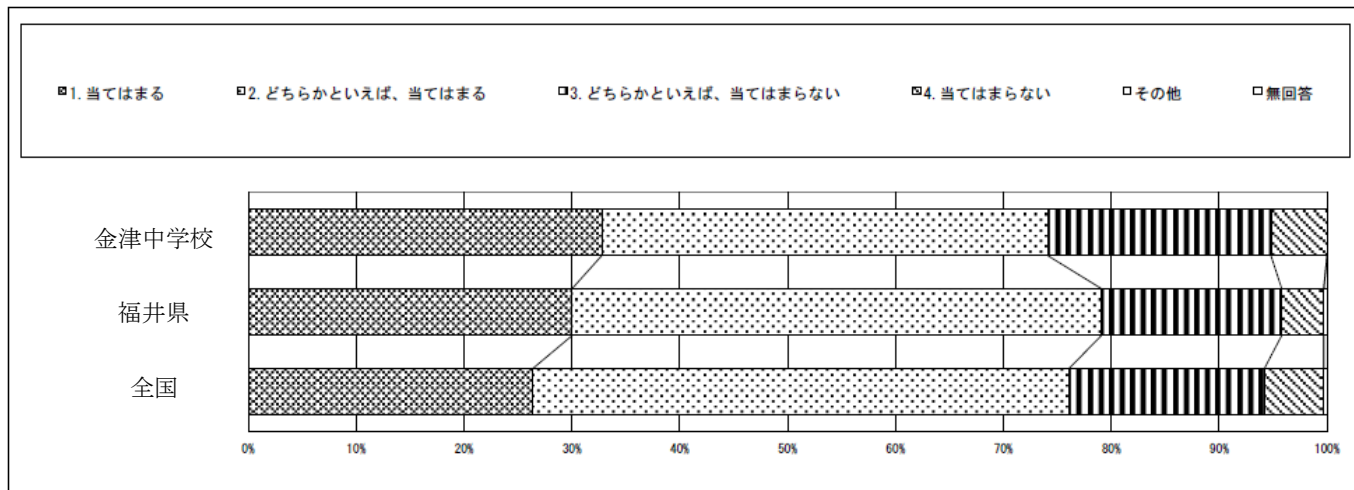
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



社会性

地域のために貢献したいという意欲については、全国平均並です。

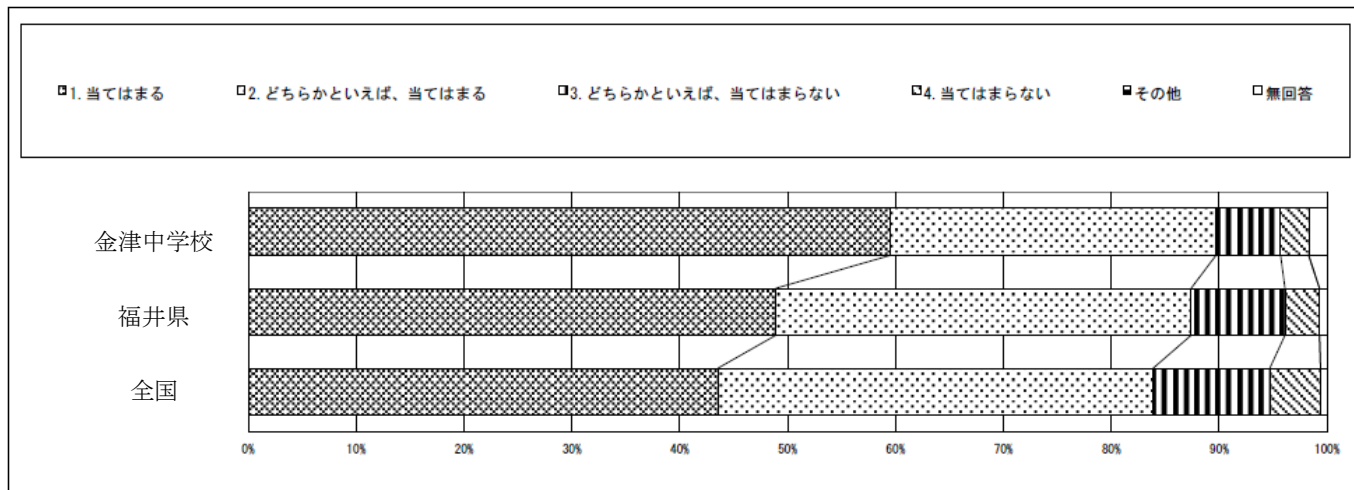
○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



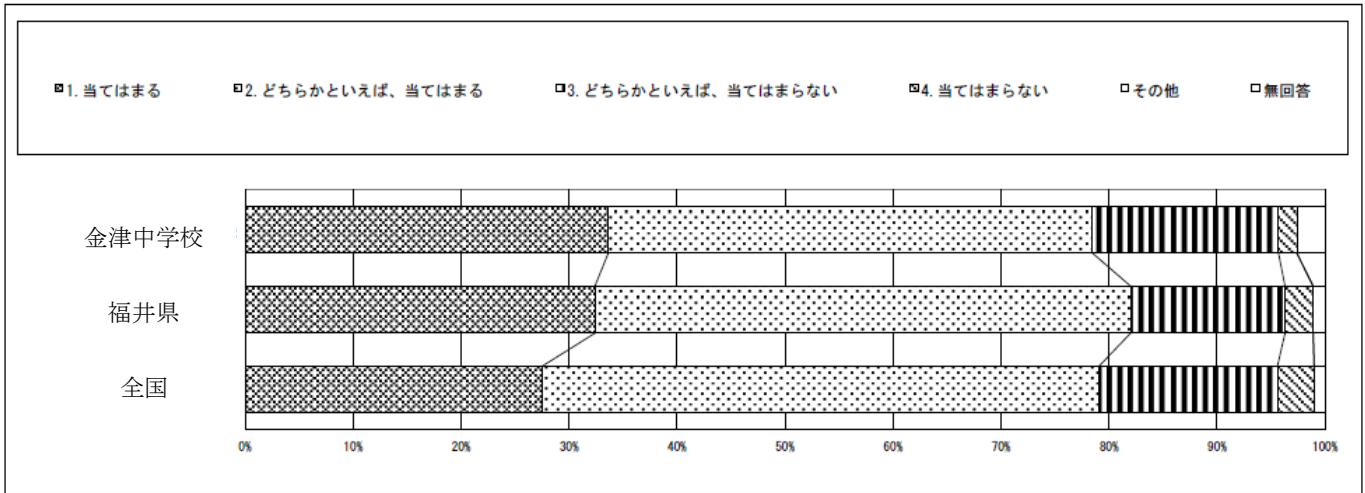
学習①

学校が楽しいと感じる生徒の割合が高いです。
また、授業で学んだことをほかの学習に生かしたり、次の学習に生かそうとしたりして主体的に学習に取り組んでいる生徒の割合が高いです。

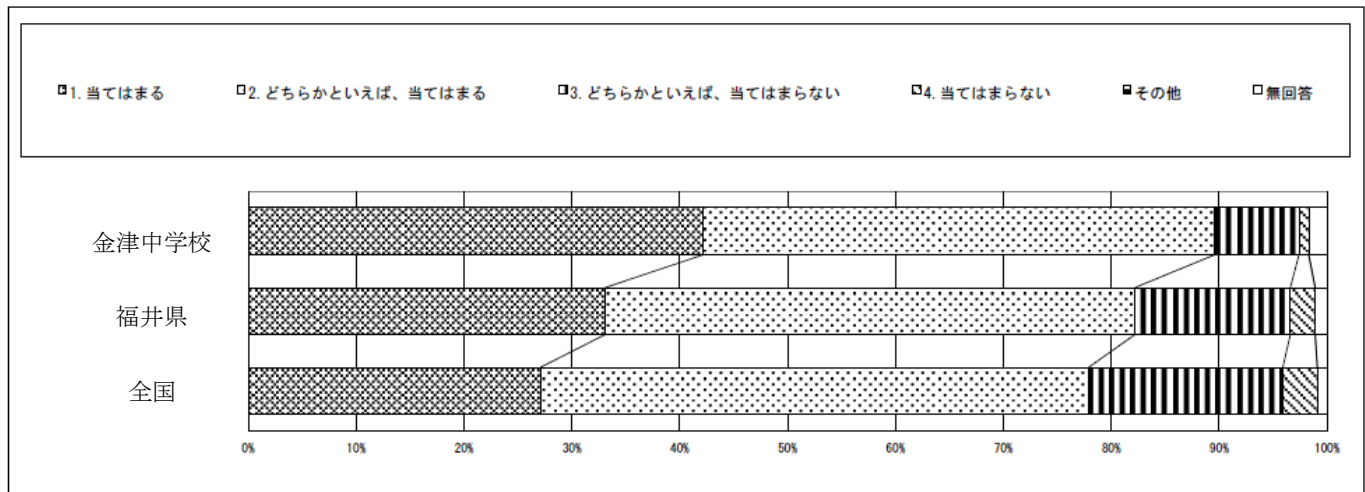
○学校へ行くのが楽しいと思いますか。



○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか。



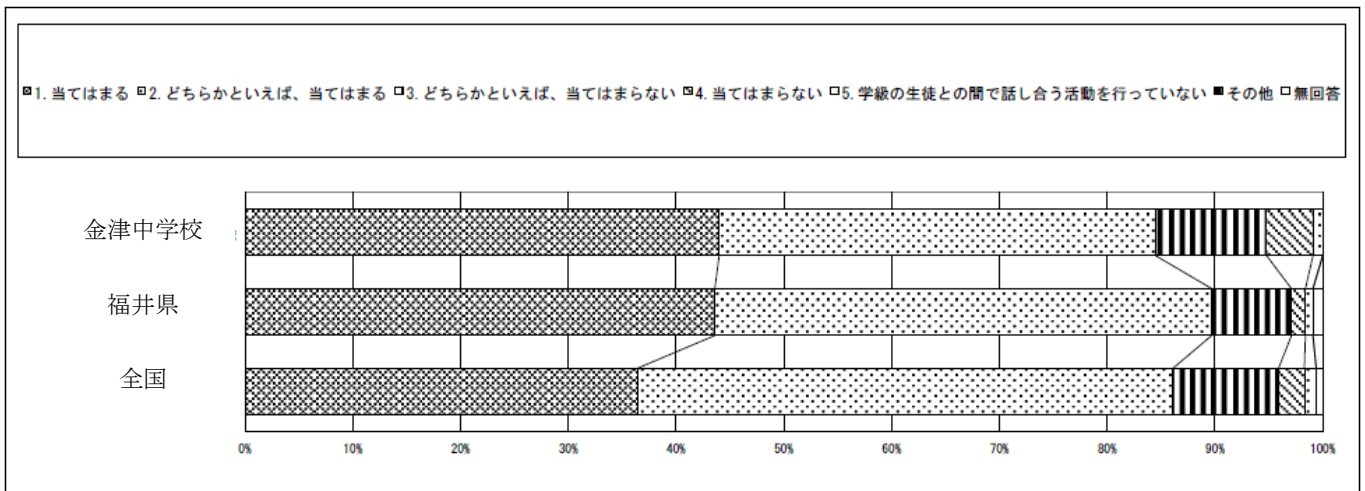
○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。



学習②

自分と違う意見について考えるのが楽しいと答えた生徒の割合が高いです。学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできているようです。

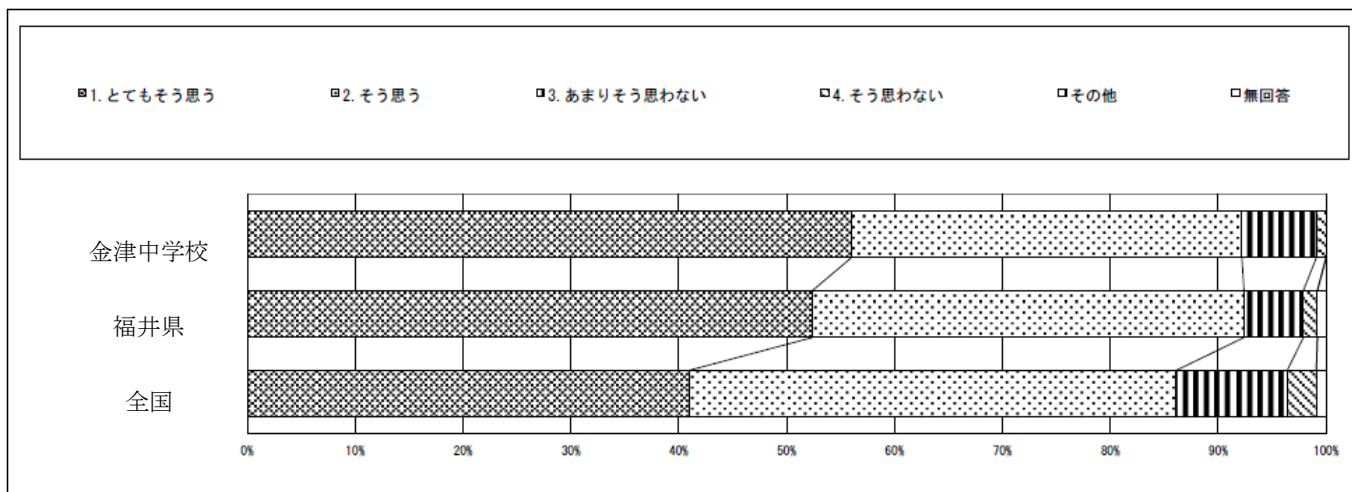
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか。



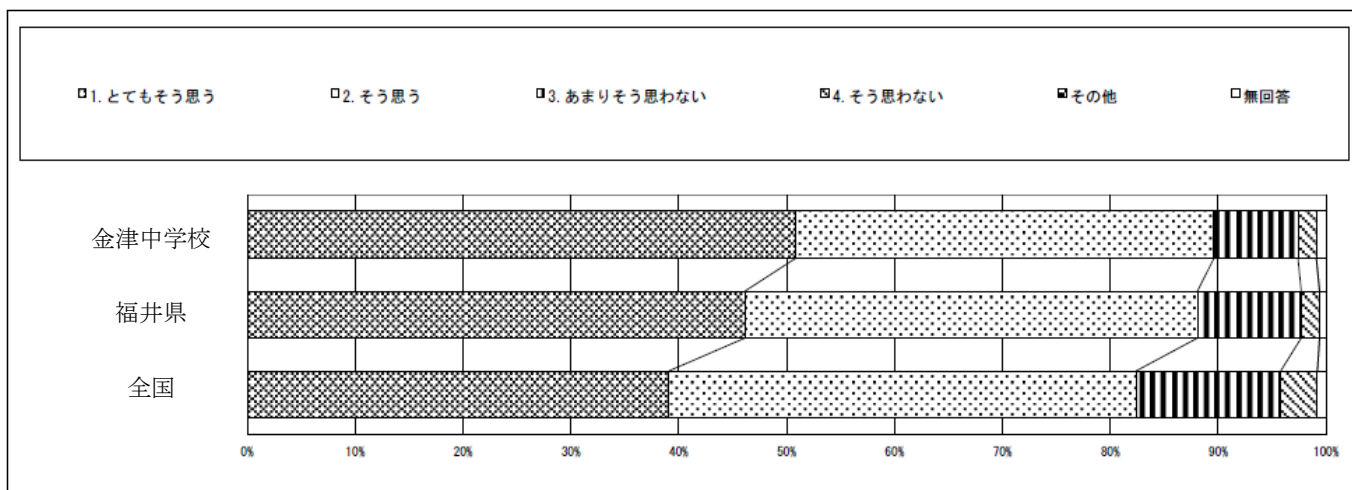
学習③

それまでに受けた授業で、PC・タブレットなどICT機器を使用することは生徒の学習意欲向上に効果がみられます。

○中学校1、2年までの学習の中で、ICT機器を活用することは、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなることにどれくらいあてはまりますか。



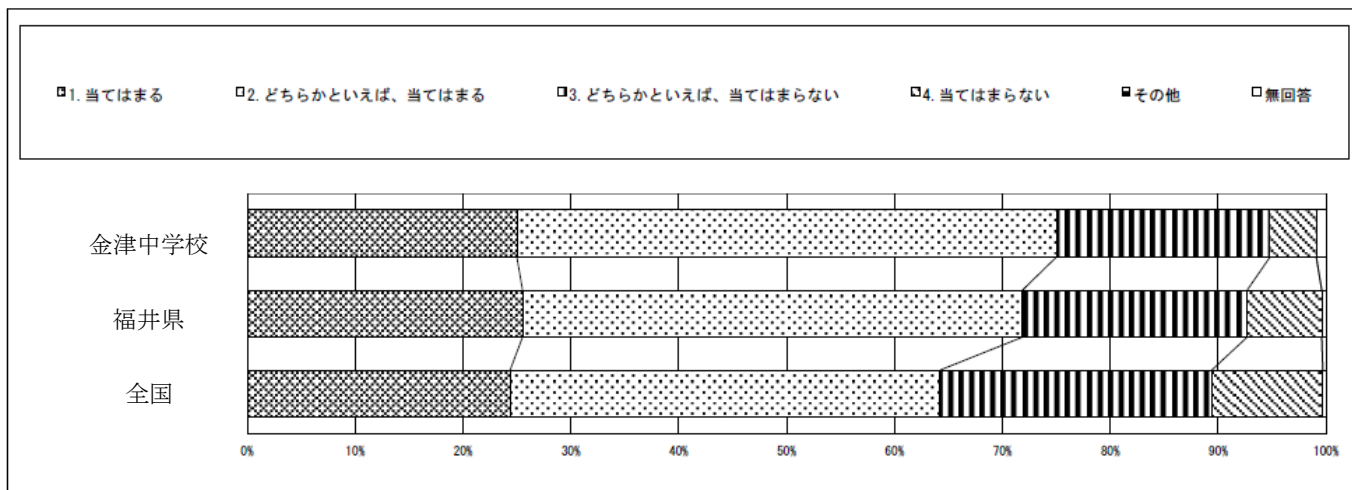
○中学校1、2年までの学習の中で、ICT機器を活用することは、楽しみながら学習をすすめることにどれくらいあてはまりますか。



学習④

国語、数学について、その教科の勉強が「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた生徒の割合は、ともに高いようです。

○国語の勉強は好きですか。



○数学の勉強は好きですか。

